

# 基本6枚:1 2 4ページ

あうっ、あんっ、あうううっ……

ほ、ホントに、兄貴って救いようも  
ないクズで、変態で、最低な野郎ね

生意気な妹を借金  
を理由に言うこと  
まかせたっただ



霧島可憐

「ちょっと何で部屋に呼びだしたのよ! 兄貴の部屋  
なんてイカ臭いんだから近寄りたくないのに!」



霧島可憐

「えっ、今まで貸したお金を全部返せって……  
そんなこと急にいわれても……  
あるわけないじゃないっ!」



霧島可憐

「えっ……なら体で払えって?  
はああああ! 馬鹿じゃないの!? 脳にウジ虫が  
湧いているんじゃないの!？」



霧島可憐

「どうして私がそんなことを……  
あ、兄貴のおちんちんをシコシコしてあげないとよっ!  
頭おかしいんじゃない!!」



## 霧島可憐

「手だけでいいからって……」

「ちょっと、何急に土下座してるのよ。ひ、英世2枚も!

……っう…し、仕方がないわねっ! そのくらいなら…

…で、でも絶対にそれ以上のことはしないからね」

生意気な妹を借金  
を理由に言うこと  
きかせたった

俺が股を開いて横になると、  
妹はジッパーをずらして、  
そのまま俺のチンポを取り出した。

あからさまに嫌そうな顔で、  
うんこでも触るかのような  
手つきで俺のチンポを、  
ツンツンしだした。



うわっ、兄貴のつてこんなに大きかったっけ？

……ちよつと鼻息荒いんですけど、そ、そんなに興奮しないでよ！

ただ触ってるだけじゃない……  
これが気持ちいいの？  
もうおちんちんビクビクさせている  
じゃない！

ゴクン

ビクッ



ふふっ、妹の手で……  
コキコキされたかったんだ。

初めて人の手で  
しごかれて……  
うれしい？ ビクンビクン  
させるほど？

そんなに口を開けて  
だらしないわね。ほらっ、  
もう我慢汁が出てきているじゃない。  
ちよつと私の手を汚さないでよ



えっ、先っぽも触れっつて!!?

こんなに真っ赤にして  
お汁を垂らして……  
もう待ちきれないの？

ゴクン

ビクッ

んっ……っんっん♡  
あはっ、ほらっ、これが  
気持ちいいの？ そんなプルプル  
震わせちゃって……

なんかあんまり触ったことない  
感触だから楽しい♡  
でもこんなに充血していても  
痛くないんだ……ふーん

……にしてもくっさいわね。  
指に臭いがついちゃう  
じゃないの

ビクッ  
ゴクッ  
ゴクッ  
ゴクッ  
ゴクッ



は？玉も触れつつ？！

そんな汚いところ……  
英世もう1枚プラスなら  
サービスでしてあげるけど……

妹のひやつとした指先が  
俺の玉をころころと転がす。  
それがまた快感となつてすぐに  
でも射精してしまいそうになる。

ひやつ、ちよつと何ピクンッて  
きせて、固くしてんのよ。  
きぎっ！

ピクンッ、  
ピクンッ、  
ピクンッ



ホント、兄貴ただのMじゃない。  
ちんぽ虐められてお金取られて  
喜んでいるの!?

くふふ♡  
何だか楽しくなって  
来ちゃった♡♡

クワッ  
クワッ

グハッ  
グハッ

グハッ  
グハッ



もう……ほらっ、いいでしょ。  
もう手、疲れてきたし。我慢汁で  
べとべとだし。最悪。  
早くやめたいんだけど…

えっ、むっ、胸を見せて  
くれないといけないって!!

それまでやめれないの…?  
えっ、まあ、お金追加してくれるなら  
……いいけど





服の下から想像していた通りの  
美乳が現れた。桜色の薄い  
乳首が少し覗いている。

心なしか少しだけ乳首が  
立っているようだった

……そんなにかっついて  
見つめないでよ!

ちよつと、一気におちんちんを  
固くして…私の胸で興奮したの?

もう、変態なんだから  
普段から妹をそんな目で  
みていたとか…きも!

ぷいっ  
ぷいっ

ぷいっ  
ぷいっ





この調子なら……  
もっと強くしていいよあげたら  
いけるでしょう！

こんなに良い思いして  
いるんだから、  
もっとお金増やしてね！

ほんと私の胸ばかり  
見ているわね。でもだーめ。  
触らせてあげないんだから

ぷるん

ぷるん

ビューン

ビューン

グニョ  
グニョ

ほらっ、今日のところは私の手で  
イッて終わりにしなさいよ。

もうお汁がどくどく溢れて、  
先っぽもひくついちゃって  
いるじゃない！

ぷるん　　ひく　　ひく　　ぷるん  
グッ　　グッ  
ニル　　ニル　　ニル　　ニル　　ニル

ほらっ、もう逝っちゃいそう  
じゃないっ！ おっぱいで興奮  
しちゃう単純早漏おチンポなんだから

ほらっ、逝かせてくださいって  
頼みなさいよ！ お金倍になっちゃう  
けど逝かせてくださいって♡

ぷるん

ぷるん

ひゅ

ひゅ

ゴッ

ヒュー





んっ、あはっ、  
手の中びびるびびるしてる。

びびん

びびん

びびん

びびん

びびん

びびん

びびん

妹のお手々でイくのは  
気持ち良かった!?

もう手が精子でべたべた  
じゃない。はいっ  
お金ちようだい……

って、ええ!次は足でして  
欲しいっ……お金払うなら  
いいけど……

ビクビク  
ビクビク  
ビクビク

妹は床に座り俺のチンポを  
包み込むように足でロックした。  
サービスなのか胸は露出した  
ままだ。そしてパンチラまで……

「ググツ」

精液を出し終わった  
俺のチンポはまだびくびくと  
脈打っている。



ほらっ、どうなのよ！  
これがいいんでしょ！妹の足が！

グツ  
グツ

グツ  
グツ

…ちよつと靴下湿気てるって？  
き、今日ちよつと暑かったし  
……べ、別にいいでしょ  
このままでも！

さっき出したばっかで  
もうびくんびくんしてる  
じゃない。

何だかんだ言いながら、  
それがいいんでしょ？  
ホント、どうしようもない  
変態ね！

グ  
グ  
グ  
グ  
グ

ビ  
ク  
ッ

ビ  
ク  
ッ

ふんっ、分からないわね。  
あたしには、これのどこが  
いいのか……

ただ、シコられて、  
喜んでるなんて……  
ただのマゾじゃない！

正直、たまらなかった。少し  
湿った靴下の奥に足の柔らかさが  
感じられて……そう、  
靴下がアクセントになっていた

「シュ」  
「シュ」

なによ…兄貴、何か言ったら？  
……気持ちいいんだ、へえ。  
んじゃ、もっと強くしてあげる

どう？ 妹にシコられる  
って、どんな気分？

……気持ちいい以外のこと  
言いなさいよ、喋る人形だつて  
もう少しパターンあるわよ

グ  
グ  
グ  
グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ  
グ

妹にシコられて興奮して  
ホント救いようがな……え？な、何  
これ。靴下、ぬ、濡れてない？

え？ さ、先走り？  
何それ……

が、我慢汁？な、何よ  
ベトベトしてるし……うわ、  
どんどん出てくるじゃない……  
うげえ、最悪……

グキョ……



もう、ホントありえない……  
うわ、何かネチャネチャ音がして、  
やらしいわね……

これ……お気に入り  
靴下なのに、  
もう……脱ごう……

にちゃ  
にちゃ





え？ そのままがいいって？  
あたしが嫌なのよ！  
もうホント最低！

我慢汁とか、もう最悪なん  
だから……！どんだけ気持ち  
よくなってるのよ馬鹿兄貴！

蒸れた匂いが少し、俺の  
鼻腔をくすぐった。あらわに  
なった生足に、俺は思わず  
息を呑む。

あのすべすべした足が、俺の  
チンポに触れるのかと思うと、  
興奮が冷めやまず、気持ちと  
チンポが膨らんでいく。

足がチンポに当てられ、  
思わず生唾を飲んだ。  
靴下ありとはまた違った  
感覚が、快感を加速させる

ビクッ  
ビクッ



足だけでこんなに大きくしてるし。キモッ……

……ていうか、触ってるだけなのにこれって、ホントどうなの？

で？ どう？  
気持ちいいわけ？ほら、妹の生足よ

ぷらん

ぷらん

グリーツ

グリーツ

グッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

グッ

妹の生足に包まれている。  
ぷにぷに……

しかも、あの生意気な妹の  
足というのが、またそぞろ

ちよつと動かせば  
いいのね。どう？妹の  
生足に包まれて、  
どんな気分？

って、そのキモい顔  
見れば一発ね。そんなに  
いいんだ、妹の生足♡

ぷるん

ぷるん

ビュッ

にちや

ビュッ

にちや

ほら、こうやって  
足で包まれるのが  
いいんでしょ？

少しくらい、  
サービスしてあげるわ。  
感謝しなさいよね

どう？ まあ手よりマシね。  
兄貴の汚いちんぽを  
直接触るとか、本来なら  
絶対にありえないんだし

グーッ  
グーッ

ビクッ  
ビクッ

は？もっと擦って欲しい？  
あのねえ兄貴、いい加減に  
しないと蹴り潰すわよ！

う、ぐ……だ、だから借金の  
代わりにやってるじゃん！  
わかった、わかったわよ！  
擦ってあげるわ！

……フン、  
金を盾に脅すなんて、  
ホント最っ低……

ぐりり……  
ぐりり……

んしょ……んんっ……ん  
っ……ど、どうなのよ。  
これでいいわけ？  
もっと続ける？……フンっ！

ホント……借金なんて  
なかったら、今頃蹴つ飛ばし  
てるのに……んっ、しょ  
……んっ……

にちや  
にちや

にちや  
にちや

グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ

だいぶしごくのにも慣れてきたわ。どう？これでいい？返事なんて、そのちんぽ見れば一目瞭然ね。ホント最低

こんな可愛い妹にしごかれないとか、どんだけ変態なの？

しかも足でなんて、そんなぞんざいに扱われてちんぽおつきくしてるんだから、ホント兄としてどうなのよ？

ぷるん

ぷるん

「ジュ」

「ジュ」



射精させて欲しい？は？  
何言ってるのよ。後は  
オナニーなりなんなりして  
発散すればいいじゃない！

極上のおかずならさっさきの  
感触で……って、マジ……？  
五千……わ、わかったわよ。  
イかせてあげるわ！

「ジュッ」  
「ジュッ」

んしょっ……んっ……!!  
ほら、早くいきなさいよ!  
その汚いちんぽから、くっさい  
精液出しなさいよ!

ほら、びくびくして  
きたわよ!

ほら、ほらほら!  
気持ちいいんでしょ?  
早くいきなさい!

がらん

がらん

しゃん

ニュニ

ニュニ

ニュニ

ニュニ







ヒヤン!

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッジュッ

ジュッ

……い、いっぱい出たわね……  
うわ、すごい臭い……

可愛い妹でこんなに  
射精しちゃって……  
はい。これで五千円ね！

え？ 今度は口い？  
じ、冗談じゃないわよ！  
……え、ま、マジ……  
なの……？

どくんっ  
どくんっ  
グエーッ  
グエーッ

妹はそっと腰をおろし、俺の  
ちんぽと向き合った。

ゾク

ハア  
ハア

ゾク

間近で見るちんぽに興奮して  
いるのか、生暖かい吐息が  
かかってしまう。おかげで俺の  
背筋はぞくぞくしっぱなしだ

ちよつと急にグイッて  
おちんちんあげないでよ。

ビクッ  
クッ

千〇  
千〇

どれだけ喜んでるのよ。  
ちよつと顔に当たりそうに  
なっちゃったじゃない！

いきなり唾えるのは流石に少し  
抵抗感があるし……舐めてみるわね。  
んっ、ぺろっ。って、またビクッて  
したっ！もしかして興奮しているの？

おずおずとおっかなびっくりな  
様子で俺のちんぽをなめ続ける妹。  
舌の暖かさにとろつきとは違った  
快感が押し寄せろ

千口 千口

……ちゆるっ、れろお、  
ちゆるっ、ぺろ。んっ  
この味……ちよつと……好……

って、別に好きでも何でも  
無いし。何ちよつとうれし  
そうにしているのよっ！

れるっ、れろお。ちゆるっ、ぺろ……  
男の人って唾えてもらったらもつと  
気持ち良くなるんだよね？兄貴もう  
1枚英世くれる？ならしてあげるよ

妹は上目遣いで俺に更にお金を  
要求してきた。これ以上の快感を  
くれるなら、どんどん借金代を  
チャラにしてやってもいい。

俺は悪魔のオマケに気づき  
うなずいて、妹を促していた。

唇が獲物を仕留めるように  
ぬちゃっと開く。唾液の糸が伝って  
いた。その口に目を奪われていると  
亀頭に快感が走った

ビクッ  
ビクッ

ほんとこんなのが  
気持ちいいのかしらっ？  
あーむ。んぢゅっ……  
んぐっ、んぢゅっ

ピュッポ

ピュッポ

んぐっ、ちゅぶっ……。  
ほらあ、どうなのお。  
兄貴い……

これ結構お口が疲れ……  
あーむ、んぢゅっ、ちゅぶっ、  
じゅぶっ、じゅぢゅっ……れるっ

必死な顔で妹は顔を動かしている。  
口の中で俺のペニスが脈打つと  
驚いたような顔を見せるが  
必死にご奉仕を続けてくれる

お金を貰うために俺の汚い  
ちんぽを必死に頬でなめる姿は  
欲情をそそいだ。俺のことを財布  
だと思っているはずの妹がお口で  
奉仕をしてくれているんだから。

んっ、んぐっ！んんっ！  
じゅぶっ……じゅぽっ……じゅ  
じゅっ……じゅぶっ……んんっ！

フェュッポ

フェュッポ

フェュッポ

ノドの奥へ亀頭が届くように  
腰を動かしてあげると、上目遣いで  
ギロツとにらみ付けてきたが、何も  
抵抗をするすべもなく苦しそうな  
顔をしていた。



フェュッポ  
フェュッポ  
フェュッポ

フェュッポ

グ  
グ  
グ  
グ



もつと妹が苦しむ顔を見たい。  
その一心で俺は腰をリズムミカルに  
動かして口内を犯し尽くそうと  
した

っんー、んー。れろお、んんっ！  
んんんう！んぶううううっ！  
んぶううううう！

必死に舌を使って俺のちんぽを  
口外に追いやるうとするも、  
俺にとってはその行為はほごよい  
快感を与えるにすぎなかった。

限界に来たのか、いきなり俺の  
太股を指でつまられてしまった。  
意識が明後日の方向に行つて  
いた俺は急いで解放してあげた

あぶっ、けほっ、けほっ、  
ちよつと兄貴っ！喉の奥まで  
つかないでよ！

え？お金を増やすから  
許してつて？んゝそれならいいけど  
ちゃんと……気を遣つてよね。  
私だって女の子なんだから……さ

俺が謝罪して気を遣ってくれたのが嬉しかったのか、そのまま無愛想な顔でさっきよりも奥深くまでくわえてくれた。

んもっ...

んもっ...

んもっ...

頬肉が壁のように俺のちんぽに絡みつき、根こそぎ精液を奪おうとバキユームフェラを始めた。

あーむっ、んじゅぶっ……  
んじゅぼっ、んじゅぶっ……  
んじゅぶっ！

先ほどよりも吸引力のある  
テクニクに俺はこみ上げてくる  
マグマをそのまま中に放出  
したかった。

エエエエエ  
エエエエエ

エエエエエ  
エエエエエ

ピポッ

ピポッ

じゅん♡

んふっ！んじゅぼっ、んじゅぼっ  
……じゅぶっ、じゅぶっ、  
じゅぶっ

そんな俺の事情に気がついたのか、  
目で笑いかけ、さらに顔の前後運動を  
加速させる。俺の我慢汁と妹の  
唾液が溶け合い、絡み合っている

ん~~~~~……♡んちゅ  
れるお、れるっ、れるお  
……んふっ♡♡♡

休みと言わんばかりに口を少し  
離し、舌で丹念のなめ直す。

射精感がこみ上げたことを  
知っているくせに「お・あ・あ・ず・け」と  
舌で字を書いているのめらわてしまっ

ゾク

ズク  
ズク  
ズク

ずひ  
ずひ

ゾク

ぬちゅちゅあま〜

あま〜  
ぱんちゅ

ぱんちゅ

ぱんちゅ

じゅ〜♡

ん~~~~~♡♡

辛抱たまらない俺の表情に満足した  
のか、またバキュームフレアを始める。  
緩急を上手に使い分けられて俺の  
腰は震えっぱなしだ

ぱんちゅ



んぶっーんじゅぽっ。んじゅぽっ  
じゅぽっ。じゅぽっ。じゅぽっ。♡♡♡

んぶっーんじゅぽっ  
んじゅぽっ

んぶっーんじゅぽっ  
んじゅぽっ

甘えた顔の俺に気をよくしたのか、  
高速で顔の前後運動を始める。  
同時におっぱいも激しく俺を求める  
ように揺れている



根元から俺の精液がこみ上げてくる瞬間、ちんぽから逃れようとした妹の後頭部を掴み、無理矢理妹の口で果ててしまった。

必死であれば俺も俺が手を放さずに快感に浸っているせいか顔をしかめながら、精液を飲み込んでいた。

んむっ、じゅるるるっ、んんんんっ  
あぶっ、むうううううううううっ!!  
こくっ、こくっ

すべてをはき出すまで俺はそのまま精液を流し込み続けた



けほっ、げほっ……うう……何て  
モノを飲ませるのよっ！あんなに  
乱暴にして……！

どろ……

慰謝料を請求するわ！  
一葉1枚追加よ！

ちや、ちゃんと飲んでつてお願い  
してくれたら、飲んであげたのに  
……あんな乱暴にするんだから

ええっ！次はパイズリって……  
うう……ほんと兄貴の性欲って底なし  
よねえ……お金？うゝん……

妹が不安そうに……いや、  
目のやり場に困るように、俺を、  
正確には俺のちんぽを見上げている。

妹の柔らかな胸に挟まれて  
いる俺のちんぽを、彼女は  
覗くように見ていた。

むにゅっ  
ゆっ

はぁ  
はぁ

はぁ  
はぁ



……ど、どうなのよ。  
気持ちいいわけ？

た、大枚叩いて妹の胸に  
ちんぽを挟むなんて……  
こんな兄貴、絶対他には  
いないわ！

あ、あつそ。気持ち  
良いの。……フン

びくっ

びくっ

ふん、飽きもせずにもた  
胸揉んでるし……マジ最悪。  
ホント……やってらんない

……ちよ、ちよつと、  
勝手に動かないでよ……!!  
ま、まあ、お金もらえる  
なら……いいんだけどさ……

むにゅーっ  
むにゅーっ

ズ  
ズ  
ッ

あうっ、あんっ……ちよ、  
胸が、こすれちゃうから!  
そ、そんなに強くしちゃう、  
だ、ダメだつて!

ほ、ホント……信じらんない！  
妹にパイズリさせて、拳句に  
勝手に動くななんて！ホント  
常識を疑うわ！

んっ……んうっ！  
だ、だから、動かないで  
って……

わ、分かってるわよ！お金を  
借りてるあたしが悪いんでしょ！

むにゅーっ？  
むにゅーっ？

ズ  
ッ

びくっ

びくっ

普段強気なこいつが徐々に半べそになつていく。その光景にとてつもない  
愉悦と支配感を覚えて、俺はもつと  
腰の動きを強めた

あつちよ、やめてっつてばあ！  
こす、こすれてるって！ んんっ  
んうっ……あうっ！



あつっ、熱い……あ、兄貴のちんぽ  
すれて……熱いよ……ねえ、やっぱり  
やめようよ……きよ、兄妹だよ!!  
ねえ、分かってんの!?

……し、知らんって……  
た、確かに、あたしもこの  
話に乗ったから悪いとは思  
ってるけど……

んうっ、んんっ!ちんぽ、  
激しいって……!この馬鹿兄貴!  
鬼畜、変態!



妹に罵倒されて、何で……また、  
おつきくしてるのよ！ほ、ホント  
最低！意味わかないし！

むにゅーっ？

むにゅーっ？

あんっ……あうっ……や、やだ、  
揉まないでよ……もう、もう！  
やめてってば！

ギンツ

ギンツ



あうっ、あんっ、あうううっ……  
ほ、ホントに、兄貴って救いようも  
ないクズで、変態で、最低な野郎ね！

い、妹に、お金握らせてこんなこと  
させてるなんて……親が知ったら  
泣くわよ！

しや、借金してるあたしが  
確かに言えた義理じゃない  
けど……ブツブツ…

グズ  
グ  
グズ  
グ

はあ!?で、でそうって、や、やめてよ  
そんな、顔に掛かっちゃうじゃない!

も、もうやめてってば……!!  
あんっ、あうっ!こ、腰、動かさな  
いでよーやめてよ、やめてってば!

ズ  
ッ

ズ  
ッ

ズ  
ッ

あつあん！すい…い…い…





ん!ん!ん!ん!ん!...

ズッ

ズッ

ズッ



びくん

熱っ……熱う……！  
せ、精液が……  
お兄ちゃんの精液が……

びくん

びくん

びくん

びくん

びくん

はあ……はあ……  
お、お兄ちゃんの精液……  
熱い……

びくん

ドロ  
ロオ……

びくん

はあ……

はあ……

お兄ちゃんの精液が……  
い、いっぱい掛かっている  
よう……

びくっ

びくっ

……ホント、どうなの!!  
妹にこんなに出して、  
罪悪感とかないわけ!!  
この馬鹿兄貴!

……今度は何? フン!  
こうなったらとことんやるわ!  
借金も全部チャラにしてやる!

妹は戸惑いながらも動かさず、  
俺の行動をとめない。「いつも  
心の中で期待しているのだろうか。  
ムムムムムム...







ちよ、顔近づけないでよ！  
い、息……おまんこに  
当たってるから！

もう、やだ！匂い嗅がない  
だよ……もう、やだあ……！  
や、やめてっばー！

びん

びん

ふん

ふん

ぬ、濡れてるって…あ、あんなこと  
してたら、だ、誰だって…変な  
想像しちゃうじゃない！ほんと  
デリカシーないの!?

何なの、兄貴…妹のパンツの  
匂い嗅いで…楽しいの？  
…か、感想もとめてるわけない  
でしょ！馬鹿じゃないの!?



あ、や、やだ！やあ！やだあ！  
き、気持ちよくするとか、意味  
わかんないし！や、やめっ…

ビュッ

っん  
っん  
っん

く、クリトリス、つ、突くの…  
やめっ、ひゃんっ！あつ、ああつ、  
だ、ダメだつて兄貴…それは…



……う、うう……染みが広がって  
るって、兄貴のせいでしょ!? もう  
最悪!これ、お気に入りパンツ  
なのに……

もう、ホント……兄貴に匂い  
嗅がれて、クリトリス弄られてる  
……もうなんなの、この状況……

ハア

ハア

ワリ

ワリ

ひゃあつ！ちよ、馬鹿！  
な、舐めちやダメだって！  
ど、どんな味がするかなんて……  
何考えてんのよ！あ、ひゃうつ

ビュッ

びゅん

ううう……兄貴さあ、  
もうちよっと妹の心情、  
汲み取ってよ……

う、そりや借金してる  
方が悪いけどさ……  
ひゃんつ！だ、だから、  
舐めるなあ！

ペロ♡

びゅん





ひゃああんっ! や、やめっ!  
く、クリトリス、舐めないでよお  
は、はあ!? か、感じてなんかないし  
馬鹿じゃないの!

こ、これは……その、  
いきなりだったから、  
びっくりしただけよ!

……わ、わかったわよ  
いきなりじゃないなら、  
別に……

びん

びん

へっ  
♡



……くう……んんんっ……ひっ……  
あうう……んんっ……。が、我慢  
なんて、してな……ひやうっ

ビ  
ク  
ク  
びん

ム  
ム

ロ  
ロ

ううう……ひゃ……あうううう……  
ふあああ……だ、だから……  
我慢……してない……



え、何、ちよ、脱がせようと  
するなあ！馬鹿馬鹿！  
や、やめてよお！





うう、脱がされるし...

トロ〜ト

じろじろ、みるな！  
この変態！

びん

もうホント……兄貴に  
見られるとか……ホント、  
ありえない……それも、  
生……

くんか  
くんか

いや、だから、匂いなんて嗅がな  
いでよ！さつき嗅いでたじゃん！

……さ、さつきより匂いが  
するって、もうだからどうして  
そうデリカシーないの！

ぬるー

ヒヒヒ



びん

びん

やあつ！ちよ、広げないでよ！  
やあんつ！お、おまんこの中、  
覗かないでよ！

ぬちせあ……

せー

ああつ、やだ……  
兄貴におまんこの奥まで  
見られてる……も、もう  
やだ……死にたい……



油断している妹に、先制攻撃。  
おまんこをなめてみる。  
……なんだらう、ちよっぴり  
しゅろしゅろ。甘い匂いがするの……

やああああああああんっ  
な、何!? な、何なの!?! お、おまんこ  
……な、舐めてるの……!?!

や、やだ、お兄ちゃん、  
き、汚いよ……やあんっ  
あうっ、ひゃううううっ  
んうううううっ

びくん

びくん

しゅろ  
しゅろ

びくん

だ、ダメだつて…お、お兄ちゃん  
…お願いだから、やめ、やめてよ  
…あんっ、あうううっ、はううっ

ビ  
ク

い、妹のおまんこなんか、舐めちゃ  
ダメだつて…！お、お願いだから  
おまんこの中で舌をくちゅくちゅ  
動かさないでえええええっ

ロ  
ロ  
ロ  
ロ

やあつ…ひやああんっあんっ、  
あああう…っだ、だめえ、  
ダメなのお…動かしちゃ、  
ダメえ……っ



ひゃああああっ！な、何？  
何でおまんこに指突っ込んで  
るの!? や、やあ！ぐちゅぐちゅ  
動かさないでよ！

あうううっ…  
そ、そんな、じゅぷじゅぷ  
するたびに溢れるからって  
……洪水みたいって

変なたとえやめてよ！  
それと、か、感じても  
ないわよ！

びくん

びくん

びくん

じゅぷ

じゅぷ

びくん





ひゃあんっ！く、クリ  
トリス、な、舐めちゃ  
ダメえ〜〜♡♡

ビ  
ク

ハ  
ア

ふああんっ！ああんっ  
やああああんっ♡  
だ、だめえ、だめえ…  
舐めちゃ、らめえ♡

ロ  
ブ

パンツ越しじゃないから…  
びりびり、直接来るのお♡  
だ、ダメえ、ダメえええ  
ええええええっ♡♡



数回けいれんした。もしかして…  
クリトリスを刺激しただけで、  
イってしまったのだろうか

はあ……はあ……。い。  
イってないわよ！イクわけにや  
いでひよ、兄貴にゃんかの指で…  
あは、あひゃ……♡♡♡

びん  
びん  
びん

びん

びん

びん



小生意気な妹だが、強がっているのは目に見えていた。先ほどから察するに、「おまんこ」の奥とクリトリスが弱いみたいなので、そこを狙おう

や、やあつーひ、広げて…  
あんっーし、舌でおまんこ  
くちゅくちゅしちゃダメえ

びく

そういうけれど、ちつ中に触れるたびにきゅきゅと喜んでちつ中が締まる。先ほどよりも愛液も増えているし、指でもないし痛くはないだろう

ビロビロ

あうううっ、ひゃうううっ！  
お、奥まで届いて……！！  
う、動かしちゃ、ダメえ

ここのちゅうなかからととと  
愛液が溢れてくる。なめれば  
なめるほど触れば触るほど  
あふれ出す

んんん  
んんん  
んんん

ゴロゴロ  
ゴロゴロ  
ゴロゴロ

ヒビク

あんっ、やあんっ！  
だ、だめえ、くちゅくちゅ  
しちや、だめえ！あんっ、  
ふあああんっ



俺はおまんこを開いたまま、  
フェイントでクリトリスへと  
舌を這わせる

ビュウ

ああっ！ああああああんっ  
クリトリス……し、舌で……  
ひやああああっ♡♡♡

ビロ

やあ！やああああんっ！  
だ、ダメダメ！やめて！  
やめ、やめえ……♡♡♡  
あああああ~~~~♡



あっけなく、妹は達してしまった。  
潮だろうか、何かが脈動しながら  
ぴゅっぴゅとおまんこから吹き  
出してる。

が、構わずに俺は  
舌を這わせ続ける

あああああう……あううっ、や、  
やだあ！やだああああああっ  
く、クリトリス、い、いじっちゃ  
だめなのお…お兄ちゃん、だめえ

感情が高ぶった時か、ぼろっと  
昔呼んでいたお兄ちゃんとう  
単語が、なんだかひどく  
懐かしく愛おしい。

それが兄としての  
自覚を与えてくれて  
背徳感が増した



びくん  
びくん  
びくん

びくん

びくん

びくん



はあ、はあ……お、おまんこの  
中また舌が……にめるにめる  
うごいて……あつ、やあんっ！  
ひやあああんっ♡♡♡♡♡

びん  
ハア  
ハア

びん

ロロ  
ロロ

びん  
びん





あうううううううううう…  
や、やあ…お、お兄ちゃん、  
見ないで、見ないでえ〜

しかし、妹のおまんこから潮が吹き  
出る光景なんて、そんなもの日常  
生活では絶対に見られない光景だ。  
よし脳細胞に録画しておこう

はあ……はあ……。  
あううう……あ、ああ…  
おまんこから、いっぱい…  
こぼれちゃってる……♥

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん




そ、そうよ……  
い、いったのよ……悪い？何か  
……も、文句でもあるわけ？



ね、ねえ！ま、待って…  
ねえ……セックス、しよ…  
だ、だって我慢できないし…

そ、それに、気持ちよく  
させてくれるんでしょ？  
ね……お兄ちゃん。しよ？



妹はゆっくりと俺のチンポの上に  
腰を下ろそうとしている。いくば  
自分で言い始めたこととはいえ…  
かなり緊張している様子が手に  
取るように分かった

白く、テカったでん部が  
ふるふると揺れていると同時に  
アナルがひくついていた。  
少し色ずんだアナルに股間が  
更に固くなってしまう



エルムの女王とエルフの騎士

はっ、初めてなんだから……  
優しくしてよね……。  
お兄ちゃん

ぐく…

ぐく…

ぬちや…

意を決して、ずぶつと腰を下ろそうとするも、ちゅうちよして  
いるらしい。手を掴んで挿入する  
部分を宛がってやった

あつ、ありがとう。お兄ちゃん  
んんっ！お兄ちゃんの熱い  
おちんちんが…中にはいつて  
……っう！

びく…

びく

……はうっ！……んんっ……ああんっ  
……ひゃっ……あうっ……んあっ！  
お兄ちゃんのふとっ……

ふう……ふう……んっ、っう……  
ああん……何もしていなくても……  
気持ちいいね♡♡♡

びく…

びく…

ゆっくりと肉ヒダに埋没していく  
様子をただ見ているだけだが、  
どこか神秘的だった。妹と  
一体化している。それだけで俺の  
股間に熱い血が巡る

びく…

辛そうに、腰を止め、  
落ち着いたら、また少し  
埋没させていく妹が  
不びんになってきた

俺は大きいため息をついた瞬間  
腰を跳ね上げてやることにする

びん

ズ  
グ  
ッ

ふち

あうっ！あああああああ  
……痛あつ！あんっ！



……あう……でも……  
繋がったね……ありがとう♡

ぐんぐん

ぐんぐん

あ、あんなに大きいのが  
私の中に……奥の奥まで、届いて……  
すっ、すごい……うっ、動いて  
もいいよ。お兄ちゃん♡♡



休憩の意味も込めて、ひくひくと  
ひくつかせているもう一つの穴へと  
手を伸ばすことにした。

息を整えている妹を無視して  
動くのは少しためらわれた。

エルアの妹

エルアの妹

びくびく

びくびく

びくびく




やっ、やだっ、ぬいてっ！  
抜いてっって……やっ！  
だめっ！


ぬっ、抜かないでっお兄ちゃん  
だめっ！……どうしてっって……  
ついちゃ……ついちゃったら  
やなのっ

ぐり  
ぐり





妹の嫌がる顔を見ながら  
自らの指を抜き、それを  
見せつけるようにペろりと指を  
なめてみた



ちよつと、やつ、やだつ！  
変態！お兄ちゃんの変態！

もう！金輪際お尻の穴触っちゃ  
駄目だからね！そんな悲しそうな  
顔をしてもだめだってば！

ツレ

ツレ

こっつ、こっちの穴で…  
おまんこで気持ち良くなつてよ。

はあ…  
はあ…

ほらっ、動かして良いから…  
おちんちん動かしたいでしょ？

ぬちやああ…

ぐん

そのお言葉に甘えて俺は、  
突き上げるように激しく腰を  
動かし始めた

ひゃんっ♡ああん♡ひゃんっ♡  
あっ♡でちゃうの♡

ハァッハァッ♡

ハァッハァッ♡

きつ、気持ち良くて♡  
声がつ……声がでちゃうの♡



ひやんっ♡ふあっ♡あうっ  
きやっ♡あんっ♡あうっ♡  
ひううん♡ひやん♡



ゴ  
ゴ

ゴ  
ゴ

ぽん♡

ぽん♡

ひうん♡んあっ♡あああ……♡  
あんっ♡ひっ、あっ、だっ、ダメッ♡  
お兄ちゃんダメッ♡ぞくぞくして  
……あああ、もう……





エルフの女王とエルフの騎士

やんつ♡そんなに強く  
しないで! あつ、そんなつ!

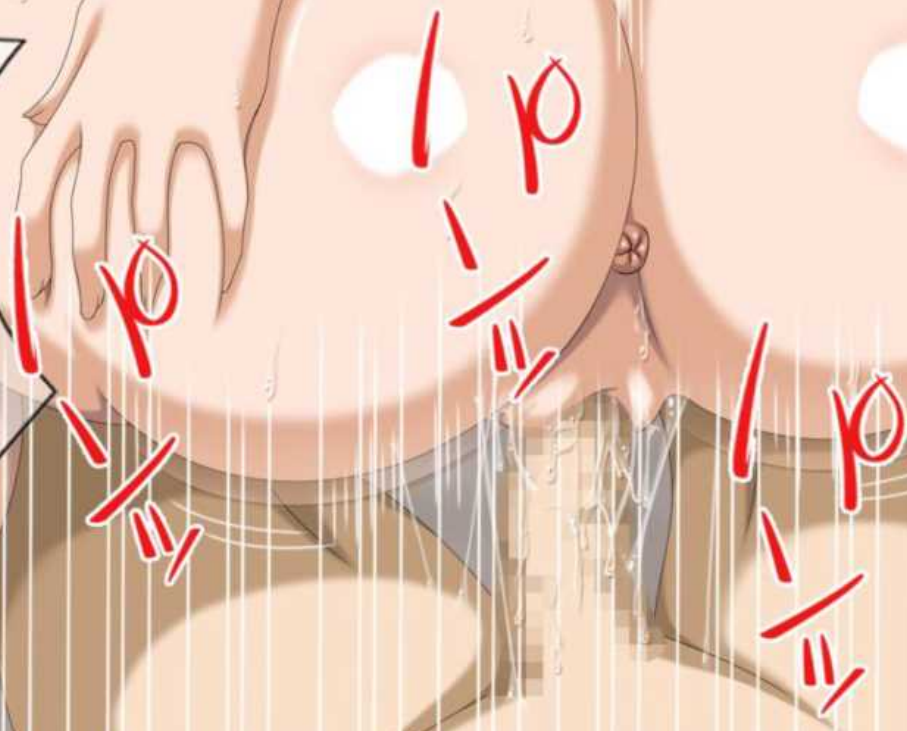
ゴック

ゴック

ぽん♡  
ぽん♡  
ぽん♡

ゴック

なつ、うん、いいよ♡中に……  
い、いっぱい、出して♡今日  
大丈夫だから♡お兄ちゃんの  
精液、出してっ……♡





びくん

あつ、あつ、あつ、あつ、あつ、  
あああああああああ…♡

びくん

ぽろん♡

びくん

お、お兄ちゃんの、あついつ！  
熱い精液が……私の赤ちゃんの部屋に、  
出てる~~~~~♡♡♡♡♡

びくん  
びくん



あ……あたしの中が……  
熱いお兄ちゃんの精液で  
いっぱいになってる……♡♡

びくん

びくん

びくん

最後の一滴まで絞り尽くす  
ように何度も何度も玉の裏に  
力を込めて、妹の子宮口に  
キスをしたまま、俺は欲望を  
垂れ流した……

エロで……